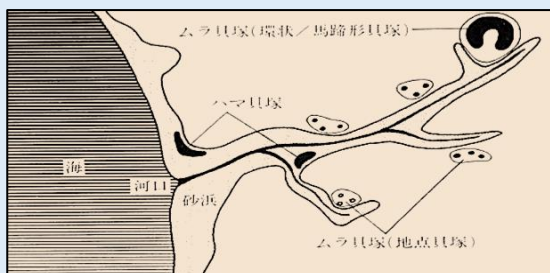
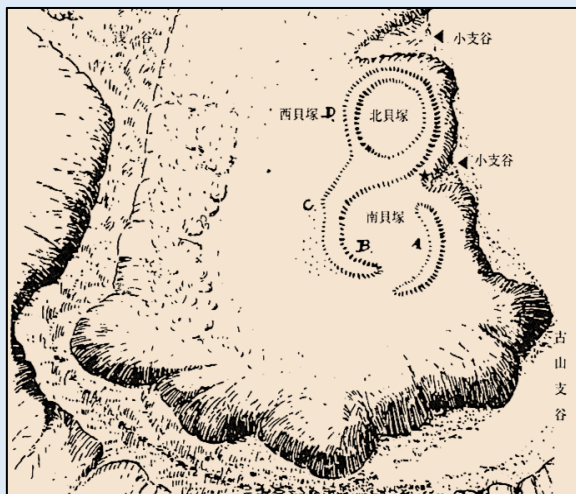


資源利用史と大形貝塚の形成背景



11月2日(日) 明治大学グローバルホール 先着100名

主旨説明 (10:00~10:20) 阿部芳郎

基調講演 (10:20~11:00) 「加曽利貝塚と東京湾東岸地帯の環状貝塚」 堀越正行

I 遺跡を取り巻く環境と集落形成の関係

研究発表 1 (11:00~11:30) 「加曽利貝塚と中里貝塚」 阿部芳郎

研究発表 2 (11:30~12:00) 「貝塚形成からみた加曽利貝塚」 樋泉岳二

研究発表 3 (13:00~13:30) 「中後期の寒冷化と植生の変化」 能城修一

研究発表 4 (13:30~14:00) 「環状貝塚を残した人々の食性」 米田穰

II 広域な地域との比較から

研究発表 5 (14:00~14:30) 「下総台地における中期と後期の遺跡群」 須賀博子

研究発表 6 (14:30~15:00) 「東北からみた中期と後期の変動は何か」 八木勝枝

研究発表 7 (15:00~15:30) 「東海地方の中後期の貝塚形成と社会」 川添和暁

III 総合討論 貝塚文化と加曽利貝塚 (全員)

主 催 明治大学資源利用史研究クラスター 03-3296-1873

共 催 基盤 (S) 人類史における新たな食料生産パラダイムによる「縄文農耕」の再評価 (代表者米田穰)

後 援 雄山閣 **★注意 電話等による事前の予約受付は致しません。**